

試験研究の背景と目標

本県の果樹農業は、恵まれた気象条件に加え、京浜市場等大消費地に近接する有利な立地条件を活かした中で発展してきた。このような自然・社会・経済条件とともに、高い技術力を培った生産者が高度な新技術を経営に取り入れた上、経営努力とが相まって、全国に誇れる果樹王国が築きあげられている。果樹農業を取り巻く環境は、国内外の産地間競争の激化に加え、果実消費の減少など厳しい状況下にあるものの、新規就農者の増加や高単価での取引が続くブドウ「シャインマスカット」当場で育成したブドウ新品種「サンシャインレッド」の市場デビューなど明るい光も見えている。

県では、「生産者所得の向上（豊かさの実感）」を目指して「やまなし農業基本計画」を策定し、この目標を達成するために「生産・流通・販売の三位一体の高度化」「戦略的ブランドプロモーションの展開」「明日の農業・農村を担う人材づくり」「農村地域の保全と基盤整備」「防災・減災対策による農村の強靱化」を施策の5つの柱として位置付け取り組む事としている。

このような背景を踏まえ、当該においては「優良品種の開発・普及」、「高品質、安定生産技術の普及」、「ワイナリーの需要に対応した醸造用ブドウの生産拡大」等を目指し、「やまなし農業基本計画」の実現に向けた主要研究テーマを設定し、研究者の創意と工夫、産学官での連携、さらに圃場・施設・機材などの研究資源を最大限に活用して、効果的・効率的な試験研究に取り組む。

【高品質・安定生産による競争力の強化】

消費拡大に結びつく戦略性の高い新品種を開発するとともに、育成されたブドウと核果類の優良品種を選抜し、高品質安定生産技術を確立する。生食用ブドウでは、気象変動に対応した遺伝的に着色性に優れた黒色系の新品種の早期育成を目指す。醸造用ブドウでは、べと病に耐病性を有する育種母本や新品種の育成を目指すとともに、本県の気象環境に適し、温暖化に対応した新たなフラッグシップとなる欧州系品種を選抜する。核果類では大玉で食味や肉質に優れた新品種を育成するとともに、気象変動にも対応できる新品種の育成を目指す。

【先進的技術の導入による生産性の向上】

ブドウ（生食用・醸造用）、モモ、スモモ、オウトウについて、高品質安定生産技術を開発する。ハウスブドウではデータとICTを利用した高品質・安定生産技術の確立を目指す。「サンシャインレッド」では、着色向上など安定生産技術の確立に取り組む。醸造用ブドウでは、「甲州」や醸造用品種の高品質化、安定生産に向けた栽培技術の確立を目指す。スモモでは、米国産スモモの輸入解禁に伴い本県産スモモの競争力向上が求められているなか、新たに低樹高・省力栽培技術の確立に取り組み、生産の維持拡大を図る。

【安全・安心で持続可能な農業の推進】

安全・安心な果実生産と環境への負荷軽減に活用できる安定かつ効率的な防除技術の開発に取り組むとともに、消費者の嗜好にあった果実の提供と県産果実の輸出促進に向け、モモ「夢桃香」の果肉赤色化の抑制技術の検討やブドウ・モモの新しい窒素施肥基準の作成に向けて取り組み、適正な施肥方法の確立を進める。また、環境に配慮した病害虫防除技術の改善に取り組む。特に、シャインマスカットの安定生産・輸出拡大に向けた病害虫対策（黒とう病、コナカイガラムシ類）の確立に取り組む。また、オーガニックワインへの需要が高まる中で、醸造用ブドウの減農薬栽培および有機栽培の実証試験に取り組む。

「やまなし農業基本計画」に基づく試験研究課題(令和7年度)

果 樹 試 験 場

I-1-(1) 高品質・安定生産による競争力の強化

ア果樹① 優良品種の開発・普及と高品質安定生産技術の普及

生食用ブドウ新品種の育成	単・重・成長	H16～
醸造用ブドウ新品種の育成	単	S25～
醸造用ブドウ品種・系統の選抜	単・成長	R2～
醸造用ブドウの高品質・安定生産技術の確立	単	H28～R7
核果類新品種の育成	単・国委	S63～
バイオテク利用による新品種の育成	単	S55～
ブドウ優良品種選抜と栽培技術の確立	単	S59～
モモ優良品種選抜と栽培技術の確立	単	S56～
スモモ及びオウトウの優良品種選抜と栽培技術の確立	単	S51～
ブドウウイルスフリー苗木育成供給事業	単	S56～
スモモの低樹高・省力栽培樹形の確立	成長	R5～9
ブドウ及び核果類等の病害虫薬剤防除法の改善	単・国補・委	S54～
⑨ シャインマスカットの安定生産・輸出拡大に向けた病害虫対策の確立	成長	R7～9
果樹病害虫発生予察事業	単	S40～
植物調節剤利用試験	単・委	S56～
ブドウ・モモの新しい窒素施肥基準の作成	成長	R5～7
県オリジナル品種「サンシャインレッド」の安定生産技術の確立	成長	R6～9
ブドウ「シャインマスカット」の「未開花症」の発生要因の解明	総理研	R6～8
⑨ 「夢桃香」の果肉赤色化抑制技術の開発	総理研	R7～9

ア果樹② すももの・ももの輸入解禁を踏まえた産地競争力強化への支援

核果類新品種の育成	単・国委	S63～
モモ優良品種選抜と栽培技術の確立(再掲)	単	S56～
スモモの低樹高・省力栽培樹形の確立(再掲)	成長	R5～9

ア果樹③ ワインリーの需要に応じた醸造用ぶどうの生産拡大に向けた支援

醸造用ブドウ新品種の育成(再掲)	単・成長	R2～
醸造用ブドウ品種・系統の選抜(再掲)	単・国委	S63～
醸造用ブドウの高品質・安定生産技術の確立(再掲)	単	H28～R7

I-1-(2) 先進的技術の導入による生産性の向上

① データ農業による生産性の向上に向けた技術の開発・普及

⑨ データとICTを利用したハウスの自動制御とブドウの高品質安定生	成長	R7～9
-----------------------------------	----	------

I-1-(4) 安全・安心で持続可能な農業の推進

② 肥料・飼料等の高騰対策の推進

ブドウ・モモの新しい窒素施肥基準の作成(再掲)	成長	R5～7
-------------------------	----	------

③ 異常気象に対応した農業の推進

生食用ブドウ新品種の育成(再掲)	単・重・成長	H16～
醸造用ブドウ新品種の育成(再掲)	単	S25～
核果類新品種の育成(再掲)	単・国委	S63～

⑤ 安全・安心な農畜産物の生産拡大に向けた支援

果樹病害虫発生予察事業(再掲)	単	S40～
ブドウ及び核果類等の病害虫薬剤防除法の改善(再掲)	単・国補・委	S54～
植物調節剤利用試験(再掲)	単・委	S56～

予算区分 単:県単、成長:成長戦略、総理研:総合理工学、国委:委託プロ等、委:その他委託試験